

令和4年度事業報告書

今年度事業推進上の基本方針

「瀬戸内海環境保全協会」の設立趣意を踏まえつつ、次の方針のもと事業を展開する。

「瀬戸内海の環境保全・創造」に関する活動拠点、瀬戸内海の各種対策のコーディネータとして、

(1) 瀬戸内海の環境活動、環境学習に関する指導者のネットワーク構築、教材等作成提供

(2) 瀬戸内海の栄養塩類や生物多様性等新たな課題に対する調査研究

(3) 瀬戸内海に関する各種情報、データの収集・発信

の中心的な役割を目指して事業を進めることとする。

また、事業実施にあたっては、瀬戸内海に関係する府県市、漁業団体、環境衛生団体の緊密な連携のもと、新たな水環境の考え方の一つである「(森・川・海の)流域管理」や「里海」をキーワードとしながら、環境省や瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海研究会との連携をさらに密にし、豊かで美しい瀬戸内海を後世に継承していくための事業展開を図っていく。

I 事業

1 瀬戸内海の環境保全・創造に関する普及啓発、活動支援及び情報収集・提供

(1) 普及啓発・活動支援

① 瀬戸内海環境保全月間の推進

ア 令和4年度瀬戸内海環境保全月間の実施

環境省が毎年6月に実施する「環境月間」にあわせ、国、関係府県市、関係各種団体、関係企業などとの連携・協力のもとに、瀬戸内海の保全に関する広域的なキャンペーン活動を展開した。

期間：令和4年6月1日（水）から30日（木）までの1ヶ月間

主唱：公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会

後援：環境省

実施主体：関係府県市、関係各種団体、関係企業等

実施内容：

- ・「瀬戸内海環境保全月間」の広報
- ・「瀬戸内海環境保全推進ポスター」の配布・掲出
- ・普及啓発用リーフレット・グッズ等の配布
- ・パネル・絵画・写真の展示
- ・環境保全に関する講演会、研修会等の開催、協力
- ・水辺、浜辺での自然・生物観察等「自然観察会」の開催、協力
- ・河川、海岸等のクリーンアップ、植樹等の地域美化活動の実施
- ・河川、海域での水質・生物調査、環境パトロールの実施

イ 瀬戸内海環境保全推進ポスター事業の展開(昭和52年度～)

瀬戸内海の環境保全意識の高揚を図るため、次の事業を実施した。

(ア) 令和4年度瀬戸内海環境保全推進ポスターの配布・掲示

令和3年度に公募し、選定された最優秀作品を令和4年度瀬戸内海環境保全推進ポスターとして作成し、瀬戸内海環境保全月間に合わせて関係機関に配布して、瀬戸内海環境保全月間以降も広く掲示する。

なお、最優秀作品、優秀作品については定時総会で表彰した。

・配布枚数：4,500枚

〔令和4年度瀬戸内海環境保全推進ポスター〕



最優秀賞 尾崎 斗馬 (小学生)
(山口県宇部市)

優秀賞 高木 咲良 (小学生)
(香川県綾歌郡宇多津町)

優秀賞 井内 聖 (高校生)
(香川県高松市)

令和4年度定時総会での表彰 (こども部門優秀賞の高木咲良さんは都合により欠席)



令和4年度定時総会の壇上での記念撮影
左より服部洋平(兵庫県副知事)、井内聖(優秀賞)、尾崎斗馬(最優秀賞)、森光敬子(環境省大臣官房審議官)



令和4年度定時総会会場入口付近のポスター原画の前での記念撮影
左から森光敬子(環境省大臣官房審議官)、尾崎斗馬(最優秀賞)、井内聖(優秀賞)、服部洋平(兵庫県副知事)

(イ) 瀬戸内海環境保全推進ポスター原画の展示（平成22年度～）

定時総会、瀬戸内海環境保全知事・市長会議総会にあわせて原画展を実施するとともに、一般の方に一人でも多く瀬戸内海に関心を持ってもらうことを目的に協会が保有している瀬戸内海環境保全月間ポスター入選作品の原画を展示し、環境保全の啓発を図る。

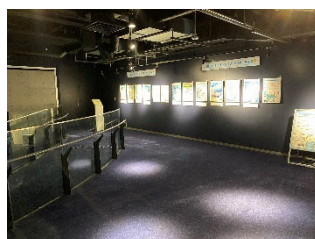
令和4年度瀬戸内海環境保全推進ポスター原画展の実施状況

	期 間	開 催 場 所	所 在 地
①	R4. 5. 26	協会定時総会（兵庫県立のじぎく会館）	神戸市中央区
②	R4. 6. 1～6. 14	広島県庁（南館1階、ふれあいコーナー）	広島市中区
③	R4. 6. 22～6. 28	岡山県環境保全事業団 環境学習センター「アスエコ」	岡山市北区
④	R4. 7. 1～7. 19	広島県情報プラザ 1階 エントランスホール	広島市中区
⑤	R4. 7. 21～8. 25	北九州市環境ミュージアム	北九州市 八幡東区
⑥	R4. 7. 27	瀬戸内海環境保全知事・市長会議総会 （ANAクラウンプラザホテル松山）	愛媛県松山市
⑦	R4. 8. 3～8. 8	高松市こども未来館	香川県高松市
⑧	R4. 8. 9～8. 29	四国水族館	香川県綾歌郡 宇多津町
⑨	R4. 9. 2～9. 21	呉市中央図書館	広島県呉市
⑩	R4. 10. 4～10. 13	あかし市民図書館※	兵庫県明石市
⑪	R4. 10. 21～10. 28	神戸港中突堤中央ターミナル	神戸市中央区
⑫	R4. 10. 30	里海カンファレンス※（ラッセホール）	神戸市中央区
⑬	R4. 11. 11	瀬戸内海の環境保全に関する 衛生団体合同研修会	岡山市北区
⑭	R4. 11. 25	広島県公衆衛生大会（アゼリア大竹）	広島県大竹市
⑮	R4. 12. 9～R5. 1. 31	神戸市立須磨海浜水族園	神戸市須磨区

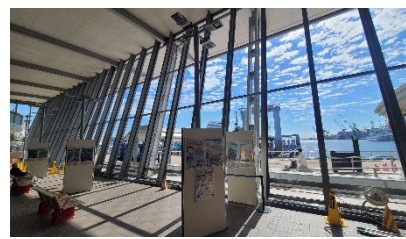
※：第41回全国豊かな海づくり大会関連行事



⑤北九州市環境ミュージアム
での原画展



⑧四国水族館での原画展



⑪神戸港中突堤中央ターミナル
での原画展

(ウ) 令和5年度瀬戸内海環境保全推進ポスター募集・選定（平成11年度～）

令和5年度瀬戸内海環境保全月間に向け、ポスターの原画を募集し、入選作品を選定した。

- ・作品募集期間：令和4年6月1日（水）～11月30日（水）
- ・ポスター選定委員会の開催：令和5年2月2日（木）
- ・ポスター応募数：一般部門 317件 こども部門 232件 総数 549件

②瀬戸内海環境保全への支援

ア 「里海づくり」支援事業の展開（平成23年度～）

地域住民等に対する瀬戸内海の環境保全意識の啓発、理解及び活動参加の推進を図るため、会員府県市が実施する人と自然が共生する「里海づくり」に係る環境学習事業や環境ボランティア人材育成事業に対し、資材（水生生物下敷、水質パックテスト等）を提供し支援を行った。

なお、令和4年度も令和2、3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、6月と9月の2回にわたって支援事業の募集を行った。

- 支援対象事業
- ①自然観察会や子どもたちを対象とした体験的学習
 - ②環境ボランティアの人材育成事業
 - ③海洋プラスチックごみ対策に係るセミナー等のイベント
- （①、②とは別枠で助成）

支援府県市：12府県17市（3年度は10府県16市、2年度は11府県12市）

事業実施期間：令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）

イ 環境保全事業への支援（昭和52年度～）

環境衛生団体や漁業団体が行っている浜辺の清掃や環境美化等、各種環境保全・創造活動事業に対し、その活動費用の一部を助成した。

（これとは別枠で海洋プラスチックごみ対策に係るセミナー等のイベント経費も助成）

助成団体数：5環境衛生団体、6漁業団体

事業実施期間 令和4年4月1日（水）～令和5年3月31日（水）

③環境保全研修の実施

ア 瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム研修の実施（平成10年度～）

瀬戸内海を豊かで美しい海にするためには、様々な環境技術の継承や知識が求められており、新たに水環境保全業務に従事する職員を対象に、瀬戸内法や環境技術等、瀬戸内海の新たな取り組みについて、研修を行った。

- ・日時：令和4年10月25日（火）～27日（木）
- ・場所：大分県 中津文化会館、NPO法人水辺に遊ぶ会ひがたラボ
- ・参加人数：23名（5府県15市3団体）

・講義：

「瀬戸内海の海洋環境総論 ～地球環境も視野に入れて～」

講師 広島大学 名誉教授 松田 治

「瀬戸内海における環境政策～瀬戸法改正を踏まえた今後の動き～」

講師 環境省水・大気環境局閉鎖性海域対策室 福井一彬

「瀬戸内海における海ごみ・プラごみの実態」

講師 鹿児島大学 特任教授 藤枝繁

「沿域における干潟・藻場の機能と役割」

講師 香川大学 教授 一見和彦

「中津干潟の自然と保全活動について」

講師 NPO法人「水辺に遊ぶ会」事務局長 山守巧

「大分県における水環境保全の取組」

講師 大分県生活環境部環境保全課 中村千晴

「閉鎖性水域生態系の栄養塩管理について考える」

講師 広島大学 名誉教授、流域圏環境再生センター長 山本民次

・現地研修（視察）：

視察 「中津干潟の現地観察、水辺に遊ぶ会ひがたラボの見学」

説明：NPO法人水辺に遊ぶ会

・班別討議及び全体討議

研修生を3つの班に分け、次の3つのテーマについて班別討議し、その後、全体討議を行った。

①栄養塩類の管理

②干潟の保全

③海ごみ対策



講義



講義



ひがたラボの見学



中津干潟の観察



ワークショップ（班別討議）



ワークショップ（全体討議）

イ 瀬戸内海的环境保全に関する各団体合同研修会の開催（昭和53年度～）

当協会設立の原動力の一つである環境衛生団体と連携を継続・維持していくため、同団体の合同研修会を共同で開催した。

- ・ 主催：（公社）瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全地区組織会議、岡山県環境衛生協会
- ・ 後援：岡山県
- ・ 日時：令和4年11月11日（金）
- ・ 場所：岡山国際交流センター（岡山県岡山市北区奉還町2-2-1）
- ・ 参加人数：113名
- ・ 講演：「包括的海洋ごみ対策：日本財団・瀬戸内オーシャンズX」
日本財団海洋事業部（香川事務所）
シニアオフィサー 小蓑 雅也
- ・ 体験交流・意見交流：各府県市連合会の実践活動から
 - 1) 岡山県 うみもりプロジェクト～海も森もきれいにしよう～
うみもりプロジェクト～海も森もきれいにしよう～（瀬戸内市）
 - 2) 福岡県 瀬戸内・豊前海の自然景観・文化景観を守る活動
豊の国海幸山幸ネット（行橋市）
 - 3) 北九州市 槻田川清掃活動で地域みんなの環境も心もきれいに
八幡東区槻田第五環境衛生協会（八幡東区）

4) 広島県 “護美” の島づくりを目指して～地域ぐるみで取り組む美化活動

大崎上島町公衆衛生推進協議会（大崎上島町）



開講式



講演

ウ 瀬戸内海的环境保全に関する賛助会員等研修会の開催(平成6年度～)

当協会の賛助会員であり、ともに瀬戸内海的环境保全に取り組んでいる企業間のネットワークづくりの場として、企業ニーズを踏まえながら研修会を実施する。

研修内容は、前回の研修会参加者へのアンケート結果を踏まえ、賛助会員部会で検討を行い決定した。

(ア) 第1回研修会（見学）

- ・日 時：令和4年11月15日（火）12:50～16:00
- ・テーマ：循環型社会を目指す企業団地
- ・見学先：いずれも北九州市内
 - ① 北九州エコタウンセンター
 - ② 2グループに分かれてのリサイクル企業団地内の工場見学
 - グループ1：西日本オートリサイクル(株)
 - グループ2：(株)エコウッド
 - ③ (株)エヌエスウィンドパワーひびきの風力発電所



(株)エヌエスウィンドパワーひびきの風力発電所にて

(イ) 第2回研修会(座学)

テーマ：海洋プラスチックごみ問題の現状と問題解決に向けた取り組み

- ・日時：令和5年1月18日(水) 13:30～16:30
- ・場所：三宮研修センター(神戸市中央区八幡通4-2-12)
- ・開催方式：Web参加が可能なハイブリッド方式
- ・内容

基調講演

マイクロプラスチック問題の現状とナノプラスチックの存在
京都大学大学院地球環境学堂 准教授 田中 周平

講演

- ・カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet の開発
(株)カネカ Global Open Innovation 企画部 福田 竜司
- ・瀬戸内オーシャンズX～プラごみ調査から見えてきたこと～
日本財団 シニアオフィサー 塩入 同
- ・ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用した清掃活動の推進
(株)ピリカ 取締役・サービス事業部長 村越 隆之
- ・参加人数：会場参加 24名、Web参加 95名 計 119名

エ 特別講演会の開催

令和4年度定時総会の終了後、同じ会場で特別講演会を開催した。

(Web参加が可のハイブリッド開催)

- ・日時：令和4年5月26日(木) 15:30～17:00
- ・場所：兵庫県立のじぎく会館 大ホール
- ・テーマ：気候変動・海洋酸性化への適応と里海づくり
- ・演題、講師：
 - 1) 瀬戸内海における気候変動と環境変動：漁業者の視点から
(特非) 里海づくり研究会議 理事兼事務局長 田中 丈裕
 - 2) 日本の沿岸域における酸性化の特性と私たちにできること
(国研) 水産研究・教育機構 水産資源研究所 主幹研究員 小埜 恒夫
- ・参加人数：会場参加 30名、Web参加 84名 計 114名

④環境保全事業への参加・協力

ア 会員等主催事業への参加・支援

会員等が主催する環境イベントで共催、後援を行ったり、瀬戸内海の環境保全に係るパネル(里海・海ごみ等)の貸し出しや展示等を行い、瀬戸内海の環境保全の普及・広報に努める。

また、令和4年度は、次の啓発用パネルを新たに作成した。

- ・きれいで豊かな海をつくるアマモ(A1サイズで2枚)
- ・瀬戸内海の養殖ノリのこしょこしょ話(A1サイズで2枚)
- ・気候変動による海洋生物への影響(A1サイズで2枚)

- (ア) 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会が主催する「令和4年度瀬戸内海研究フォーラム in 和歌山(令和4年8月18日(木)～8月19日(金))」に協賛した。
- (イ) 北九州市環境衛生総連合会が主催する「第59回北九州市環境衛生大会(令和4年10月7日)」の後援
- (ウ) 公益財団法人国際エメックスセンター・特定非営利活動法人里海づくり研究会が主催する「里海カンファレンス(令和4年10月30日)」の後援
- (エ) 第41回全国豊かな海づくり大会の関連事業である「豊かな海づくりフェスタ(令和4年11月12日(土)～11月13日(日))」に瀬戸内海の環境啓発パネル、湾灘パズルを出展し、出展ブースへの来訪者に対して環境クイズを実施した。
- 開催日：令和4年11月12日(土)～11月13日(日)
- 場 所：兵庫県立明石公園 西芝生広場
- 出展ブース来訪者数：720名
- 環境クイズへの回答者数：512名
- (オ) 広島県公衆衛生大会の後援(令和4年11月25日)
- (カ) 環境と健康のポスター・標語コンクールの(一財)広島県環境保健協会との共催(令和4年11月25日)
- (キ) 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会が主催する「令和4年度瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ(令和4年12月14日)」の後援
- (ク) 兵庫県が主催するひょうごローカルSDGs～つながろう私たちの海を守るために～活動報告会の後援(令和5年3月20日)
- (ケ) パネルの貸し出し、電子データの使用許諾

団体名	目 的	時 期	区 分	内 容
備前市	全国なぎさシンポジウム in 岡山で展示	11/10 ～ 11/11	貸出	海ごみ、アマモ等のパネル(4枚)
今治市	環境フェアでの展示	12/17 ～ 12/18	電子データの 使用 許諾貸出	海ごみ、スナメリ、アマモ等のパネル(13枚)
今治市	環境フェアでの展示	12/17 ～ 12/18	貸出	湾灘パズル

イ 環境NGO・NPO等との連携・支援

瀬戸内海の環境保全等に努める環境NGO・NPOとの連携や支援を行う。

- (ア) 後援名義使用の承認
- ・3海峡クリーンアップ大作戦(鳴門海峡・紀淡海峡・明石海峡、11月5日)
 - ・第19回ほっといたらあかんやん！大阪湾フォーラム with せんなん里海フェス(3月19日)

⑤瀬戸内海の理解と魅力向上事業

瀬戸内海について知ってもらい、その魅力を感じてもらうために、瀬戸内海に関する基礎的な知識を8つのテーマごとに簡潔にまとめ、Web上で学べる環境学習テキストを作成した。

この環境学習テキストは、令和3年度に特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議に委託して作成した環境教育用テキストの素材をもとに編集し、Web上で閲覧可能な音声付動画とPDFファイル（印刷可能）にしたものである。

（環境学習用テキストの8つのテーマ）

- 1 瀬戸内海の成立と地形
- 2 瀬戸内海のものの動き
- 3 瀬戸内海的环境特性
- 4 瀬戸内海の水質と底質
- 5-1 瀬戸内海の生き物Ⅰ
- 5-2 瀬戸内海の生き物Ⅱ
- 6 瀬戸内海のごみ
- 7-1 瀬戸内海の歴史と景観Ⅰ
- 7-2 瀬戸内海の歴史と景観Ⅱ
- 8 これからの瀬戸内海

⑥瀬戸内海環境保全に関する関係府県市・団体との連携

ア 瀬戸内海再生に向けた取組みの推進

瀬戸内海の生物多様性の確保、水産資源の回復、美しい自然とふれあう機会の提供等、豊かで美しい瀬戸内海を取り戻すための施策が総合的、計画的に推進されるよう、平成16年から瀬戸内海環境保全知事・市長会議等と連携して、種々の取組みを進めた。

イ 国に対する提案(昭和52年度～)

栄養塩の適正管理や藻場、干潟の保全等、単独の府県だけでは取り組めない瀬戸内海の広域的な課題の解決に向けた調査・研究に取り組むため、国に提案を行った。

- ・提案日：令和4年7月8日（金）～7月29日（金）
- ・提案先：環境省(25人)、水産庁(12人)、財務省(23人)、国土交通省(28人)
計88人

（提案事項）

・施策の推進

- (1) 瀬戸内海的环境保全・再生・創出のための普及活動、環境教育・環境学習事業及び参加型環境保全活動事業並びに新たな視点での水環境を基調とした海文化を通じた環境啓発事業の推進

- (2) 瀬戸内海の自然景観と文化的景観の保全と再生に向けた取組（自然、文化、歴史等の既存の情報収集とその広報活動を含む）
- (3) 地域で活動している NPO 団体との連携による地域づくり活動の実施体制の構築（指導者やボランティアの育成）及び活性化
- (4) 漁業が持続可能な豊かな海づくりのための湾・灘ごと等の地域の実情に応じたきめ細やかな栄養塩類の管理手法や順応的管理の考え方に基づく取組の推進方策、評価手法の具体化及び財政支援
- (5) 藻場、干潟等の浅場の整備、環境配慮型護岸の整備、底質の改善、赤潮防止対策の推進、海ごみ（漂着、漂流及び海底ごみ）対策の推進など海域の環境の保全・再生及び創出
- (6) 瀬戸内海特有の景観を活用し、エコツーリズム推進法に基づいたエコツーリズムを行うことにより、島しょ部等地域が持つ特有の魅力の再評価及び地域の活性化を図る事業の推進方策、評価手法の具体化及び財政支援
- (7) 水質浄化・物質循環に寄与する二枚貝等を捕食する有害生物対策の推進

・ 調査研究

- (8) 栄養塩類の働きを踏まえた高次生態系モデルの構築に関する調査研究及び生態系データの共有化
- (9) 地球温暖化や高蓄積性・難分解性の有害化学物質及び物質循環低下の影響並びに栄養塩類管理、生物多様性・生物生産性確保の観点でその影響を予測する瀬戸内海の環境モデルの開発に関する調査研究
- (10) 施肥及び下水処理場の管理運転等による栄養塩類供給手法が海藻や貝類等の生物の成長及び水産資源等と与える影響に関する調査研究
- (11) 栄養塩類管理のための各湾灘の実態に応じた栄養塩類供給措置以外の手法（流況改善等）に関する調査研究
- (12) 赤潮や貝毒に係る有害プランクトンの発生に関する調査研究
- (13) 瀬戸内海の沿岸域での良好な環境の保全、失われた環境の修復・創造に関する調査研究
- (14) 藻場・干潟の機能と造成効果に関する調査研究（藻場・干潟の生態系に取り込まれたブルーカーボンに関するものを含む）
- (15) 瀬戸内海の環境データの収集とデータベース機能の充実（特に生物、藻場、干潟等の自然環境情報）及び瀬戸内海環境情報基本調査の継続実施
- (16) 海ごみ（特に海洋プラスチックごみ）の海への流入実態把握、効果的な流入防止対策、発生抑制への取組みに関する調査・研究
- (17) 瀬戸内海研究会議の調査研究及び普及・教育活動に対する支援

ウ 賛助会員の加入促進

協会の目的に賛同する企業等の賛助会員加入の促進を図るため、研修会の充実やセミナー等での広報に努めている。

また、次の措置を昨年度から引き続き行っている。

- ・ 賛助会員が瀬戸内海環境保全トレーニングプログラムに参加する際の旅費の半額補助

エ 瀬戸内海研究会議に対する支援・協力

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議（平成25年4月1日設立）の事務局を担うとともに、研究会議が行う事業の運営推進について支援・協力を行う。

- ・瀬戸内海研究フォーラム in 和歌山（令和4年8月18～19日）に協賛し、企画・準備・運営ならびに現地開催を支援した。
- ・瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ※（令和4年12月14日（水））の後援、開催協力

※:ワークショップのテーマ

瀬戸内海の栄養塩循環～播磨灘を例とした瀬戸内海の栄養塩管理に向けて～

オ 国際的な活動への協力

（公財）国際エメックスセンターが行う国際的な行事について協力を行う。

(2) 情報共有・発信事業

瀬戸内海の環境保全にかかる現状や、瀬戸内海のあり方、行政施策に関する情報を収集し、今後の施策や事業の連携、協調を図るため、府県市、漁業団体、環境衛生団体等の会員をはじめ、関係する市民等に広く情報を発信し共有する。

①総合誌「瀬戸内海」の発行・配布(平成6年度～)

瀬戸内海の自然・社会・人文科学の総合誌「瀬戸内海」を発行・配布するとともに協会ホームページに会員限定で掲載する。

- ・発行回数：年2回

第84号：令和4年9月発行 350部

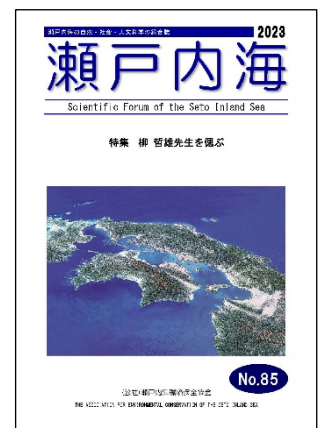
特集 海洋教育

第85号：令和5年3月発行 350部

特集 柳 哲雄先生を偲ぶ

- ・無償配布：会員団体（冊子）
- ・有償配布：年間購読者等（冊子）

年間購読料 2,500円（税込み）



「瀬戸内海」第85号

②資料集「瀬戸内海の環境保全－令和4年度版－」の作成 (昭和53年度～)

瀬戸内海に関連する各種資料をとりまとめ、資料集「瀬戸内海の環境保全－令和4年度版－」を作成しホームページに掲載する。（1年間は会員のみアクセスを限定）。

③情報の発信

ア 協会ホームページによる情報の発信（平成10年度～）

瀬戸内海の環境保全に関する環境学習情報等を広く一般の方も容易に入手できるとともに、環境保全に取り組むNPOのネットワーク化にも役立つよう協会ホームページのリニューアルを行っている。

イ メールマガジンによる情報の発信（平成23年度～）

会員府県市、漁業団体、環境衛生団体及び協会が有するトピックスを収集し、情報共有や施策立案等だけでなく、会員を通じた普及啓発に資する情報発信を行う。

2 瀬戸内海的环境保全・創造に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業

豊かで美しい瀬戸内海実現に資する調査・研究事業について、外部資金の獲得を目指した活動を行う。令和4年度は次の事業を兵庫県から受託した。

新たな栄養塩類供給方策に係る調査・研究業務（令和4年度：兵庫県委託）

兵庫県では栄養塩類管理計画を策定するが、栄養塩類増加措置実施後も対象海域の一部では全窒素の濃度が「望ましい濃度」を達成することが難しいことから、対象海域の水質の状況について調査・解析・評価を行い、栄養塩類増加措置実施者に位置付ける工場・事業場の追加やその他の栄養塩類供給方策の検討をする必要がある。

そこで、本業務では、栄養塩類管理計画に示す栄養塩類供給方策を県民の理解を得ながら円滑に推進するために、県民への啓発や意識調査を実施するとともに、大学等研究機関と共同して栄養塩類循環メカニズムや新たな栄養塩類供給方策について調査・研究を行った。

II 一般事項

1 会議等の開催

(1) 総会

① 定時総会（令和4年5月26日（木） 兵庫県立のじぎく会館）

- ・ 令和3年度事業報告及び決算
- ・ 会費の額
- ・ 国に対する提案
- ・ 令和4年度事業計画及び収支予算

(2) 理事会

総会付議事項及び業務の執行に関する事項を協議した。

① 第20回理事会（令和4年5月9日（月） 神戸市勤労会館）

- ・ 専門委員の委嘱
- ・ 定時総会付議事項

② 第21回理事会（令和5年3月10日（金） 兵庫県公館）

- ・ 令和4年度事業実施状況
- ・ 令和5年度事業計画案及び収支予算案

(3) 専門委員会等

① 企画委員会

第1回企画委員会（令和4年11月28日（月） 三宮研修センター）

- ・ 令和4年度事業実施状況
- ・ 令和5年度事業計画案（素案）など

第2回企画委員会（令和5年2月20日（月） 三宮研修センター）

- ・ 令和4年度事業実施状況及び収支予算の変更
- ・ 令和5年度事業計画（案）及び収支予算書（案）など

② 編集委員会

協会が発行する「瀬戸内海」の編集方針を定めるとともに、特集テーマや掲載内容及び執筆者等の検討を行う。

第1回編集委員会（令和4年9月26日（月） 三宮研修センター）

- ・ 「瀬戸内海」84号（令和4年9月発行）の編集結果について
- ・ 「瀬戸内海」85号（令和5年3月発行予定）の原稿収集について
- ・ 「瀬戸内海」87号（令和6年3月発行予定）の特集※について

※：「瀬戸内海」86号（令和5年9月発行予定）の特集は「故柳哲雄先生の追悼特集」とした。

第2回編集委員会（令和5年2月22日（水） 三宮研修センター）

- ・ 「瀬戸内海」85号（令和5年3月発行）の編集結果について
- ・ 「瀬戸内海」86号（令和5年9月発行予定）の原稿収集について
- ・ 「瀬戸内海」87号（令和6年3月発行予定）及び88号（令和6年9月発行予定）の特集について

③ 賛助会員部会

協会活動に対する賛助会員の積極的な参画と賛助会員に係る事業の検討・企画を行った。

令和4年度賛助会員部会（令和4年8月30日（火） 三宮研修センター）

- ・ 平成4年度賛助会員に関する事業等について

(4) 参事・事務局長並びに担当課長会議

（令和5年3月3日（金） 神戸市中央区文化センター）

会員に対する協会事業の理解と周知を図るとともに、事業活性化のため、会員相互の情報交換等を行った。

2 専門委員の委嘱

企画委員、編集委員、賛助会員部会委員を委嘱した。

(1) 企画委員 (13名)

奥田孝史	大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課長
山本竜一	兵庫県環境部水大気課長
岡田誠司	広島県環境県民局環境保全課長
中西正光	香川県環境森林部環境管理課長
北村雅子	大分県生活環境部環境保全課長
松井直樹	大阪市環境局環境管理部環境管理課土壌水質担当課長
中西寛光	神戸市環境局環境保全課長
阪永憲哉	明石市市民生活局環境室環境保全課長
岡田憲和	高松市環境局環境指導課長
渡辺英典	山口県漁業協同組合参事
山崎 亮	愛媛県漁業協同組合参事
中村博信	(一財) 広島県環境保健協会地域活動支援センター長
河本英一	(公社) 山口県快適環境づくり連合会事務局長

(2) 編集委員 (10名)

井上尚和	(株)神戸製鋼所安全・環境部シニアプロフェッショナル
中西正光	香川県環境森林部環境管理課長
速水香奈	環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室室長補佐
佐山 浩	関西学院大学総合政策学部教授
山本竜一	兵庫県環境部水大気課長(知事・市長会議事務局)
反田 實	兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター技術参与
住田典子	(一財) 広島県環境保健協会地域支援課長
藤原建紀	京都大学名誉教授
滝本恵介	関西電力(株)火力事業本部火力運営部門発電グループチーフマネジャー
鷺尾圭司	元国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校 理事長

(3) 賛助会員部会委員 (7名)

滝本恵介	関西電力(株) 火力事業本部火力運営部門 発電グループ チーフマネージャー
小西達也	川崎重工業(株) 総務本部環境・エネルギー管理部 基幹職
井上尚和	(株)神戸製鋼所 安全・環境部 シニアプロフェッショナル
中西浩之	四国電力(株) 立地環境部環境グループ グループリーダー
小野 健	いであ(株)大阪支社 環境技術部長
磯野直博	大塚製薬(株) 徳島本部環境課長
佐守広志	山口県瀬戸内海環境保全協会 (株)トクヤマ 徳山製造所 環境安全部環境管理課長